令和８年１０月１９日市長定例記者会見 会見録

◆司会
皆様お待たせいたしました。まず前の記者会見が伸びまして今回ＹｏｕＴｕｂｅでライブ配信しておるんですけれども、ライブ配信ご覧中の方、若干配信の開始が遅れてしまいまして申し訳ございません。それではただいまから 10 月 19 日静岡市長定例記者会見を開会いたします。本日は先ほどアリーナの話がありましたので、発表項目はございません。そのため幹事社質問から入りたいと思います。毎日新聞さん、早速お願いいたします。

◆毎日新聞
幹事社の毎日新聞です、よろしくお願いいたします。日本版ＤＢＳへと子供性暴力防止法が 12 月に施行されます。東京都教育委員会では 9 月、国に先駆けて独自に特定性犯罪前科の確認を行うと明らかにしました。まずこの制度についての市長のお考えをお聞かせください。また対象については教職員の他、こども園の先生なども対象になると思いますが、12 月の施行に向けての準備状況の他、市として独自に特定性犯罪前科の確認を行うお考えがあるかお聞かせください。お願いします。

◆市長
日本版ＤＢＳですが、これは子供の安全を守る予防の仕組みを制度化するものですので子供の安心に繋がる制度、もちろん親の安心にも繋がる制度だと受け止めています。静岡市では現在、国のマニュアルに沿ってこの施行に向けて準備を進めています。
まず安全確保措置ですが、現職の方そして新規採用予定者に向けた教育研修の実施をしているところです。また万が一、性被害が起きてしまったときの相談窓口として、児童園児やその保護者から学校や園での困り事について伺う既存の相談窓口を活用していきます。
次にこれが大きなポイントになるわけですけども、特定性犯罪前科の確認ということになりますが、これは独自に実施できる方法としては本人に聞くっていう、あるいは自己申告してもらうということになりますが、これについては自己申告を正直にする人はおそらく非常に少ないだろうと思います。自己申告をするとやはり採用されない可能性があると思いますので、自己申告制度では十分に機能を発揮しないんではないかなと思います。やらなくていいという面ではなくて、必要十分というところからいうと十分ではないと思っています。
確実に確認するためには、やはりこの法律の施行を速やかに国のマニュアルに

沿ってこの特定性犯罪前科の確認を進めていきます。
従ってご質問の静岡市として独自にこの特定性犯罪前科確認を行うのかっていうことですけども、あるいは東京をのように行うのかということですけども、静岡市についてそれを行う予定はありません。これまず全国の全ての対象者ということになりますので、大変な人数になりますので国においても直ちにやれるということではなくて、何年か時間をかけて、例えば 3 年間をかけてやるというような計画を組んでおられると思いますので、静岡市においてもそれぐらいの期間をかけてやることになるんではないかなと想定をしています。以上です。

◆司会
それでは、ただいまの幹事社質問関連について質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは幹事社質問については以上といたします。
それではここからその他の質問になりますので、質問のある方は挙手の上、質問をお願いいたします。いかがでしょうか。ＮＨＫさん。

◆ＮＨＫ
ＮＨＫの小田と申します。前回の市長会見で防災メールなどのシステムの不正アクセスがあったかと思うんですが、それに伴う情報漏えいについて前回の市長会見では少なくとも 20 人以上の職員に不審なメールが届いたというふうにおっしゃっていたのですが、それ以降で新たな被害ですとかそのような職員の方への不審なメールが実際に現時点でどれぐらい届いているのかという被害の状況を教えて下さい。

◆市長
これ実は確認をしていなくても、確認をするところではなくて多数届いていると思います。実は私のところにも届きました。先日は大手クレジット会社というところである会社でしたけども、今回私のところに届いたのは違う会社の違うクレジット会社の名前で届きました。ただその中身は同じになります。従って非常に多くの職員のところに届いているんではないかなと思いますので、届いたかどうかの確認、何件届いたかというよりももうほぼ全員に届いているということを前提に、あるいは漏えいした市民の皆さんに大変申し訳ないんですけど、市民の皆様にももう必ずその可能性があるということを前提に対応していただく必要があるかなと思っています。ただ自分自身もそうなんですけども、困った事に実際の自分が利用しているクレジットカードの利用確認が来るんですね。そういうのを登録することにできますので、そうするとちょっとそ

れも本当かなっていうところが不安になって、そこは確認しないということになってしまうので。これ前回の発表のときはそういうメールが来たときは、そこを例えば進んでいってクリックしないで無視か削除してくださいというお話をしていたんですけども、どうもそれを装って言うのか装っていないのかわからないような状態もありますからこれについてはちょっと困ったもんだなということで、逆に問い合わせをしてみないといけないのかなと思っていますので。それをちょっと改めて市の中で問い合わせというのは送ってきたクレジット会社であるとかそういうところに確認をしてみないといけないのかなと思っていますので、そのあたりまた改めてご報告をしたいと思います。

◆ＮＨＫ
不審なメール以外の何かその他の被害というのは特段聞いてらっしゃるんですか。

◆市長
市民の皆様からの問い合わせ状況からするとやはりこの防災メールに関する問い合わせが多いので、それ以外の例えば認証メールであるとかしずメールとかそういうところから市民の皆様から問い合わせもありませんので、そちらからの問題は少ないんじゃないかなと思います。やはりクレジット会社名でメールが届いたというとこが一番今のところ直接の不審メールということになると思います。

◆司会
その他いかがでしょうか。毎日新聞さん。

◆毎日新聞
今のお話に関連して市民の方の問い合わせということなんですが、それが何件具体的にあったのかということと、あと前回の会見の中では市が運営するサービス全体的に確認するということですがその確認状況を教えてください。

◆市長
今のところ 19 日現在ということですけども、静岡市の防災メールで 25 件の問い合わせが来ています。電話 22 件メール 3 件ということになります。それが以上ということになります。全体を確認したところ、いろんなところで出てきてその可能性があるので確認しましたが問題ありませんでした。いろいろとありますのでＤＸ推進課から具体的な状況について説明をします。

◆ＤＸ推進課
ＤＸ推進課です。今回発生しました株式会社アルカディア以外では、現時点の市の基幹システムなどに影響を与える被害は確認されておりませんけれども、地域包括ケア推進課のインクルーシブ雇用推進事業、これは就労に困難を抱えるものと企業を繋ぐ就労支援事業ですけど、こちらのＷｅｂサイトに不正アクセスがあったということで業者から連絡がありました。これウェブサイト制作管理するサービスのスタジオ株式会社のもので、10 月 16 日 18 時 27 分には昨年度の委託先の株式会社コンパスというところから 23 件の企業名、担当者氏名、メールアドレス、電話番号が漏えいした可能性があるという連絡を受けております。
あと静岡市立図書館のホームページですけれども、こちら翻訳サービスのシステム障害ということで 10 月 7 日に外国語への言語切り替え機能が利用できないっていう状況になっていまして、この翻訳サービスの基盤というのは 10 月 7 日に被害を受け茨城県庁など多くの障害が発生している株式会社ＩＤＣフロンティアというところの基盤を使っておりまして、日本語表記には全く問題ないんですが外国語の翻訳のサイトですね、こちら業者の方がストップしておりますので今利用できないという状況になっております。その他のところの被害の報告は現在のところありません。以上です。

◆市長
念のため今の就労の関係ですけども、これは市民の皆様の情報が漏れたんではなくて、こういうサービスをやる企業を募集したところ自分のとこやってもいいよっていう企業名が入っていましたので、その企業名とメールアドレスのようなところが漏れたということですので市民の皆様に直接何かそれによって問題が発生することはないと考えています。

◆司会
その他質問いかがでしょうか。静岡朝日テレビさん。

◆静岡朝日テレビ
静岡朝日テレビの林です、よろしくお願いします。ちょっと民間の調査なんですけれども、大東建託が実施した自治体ブランドランキングに関して静岡市は去年は 85 位だったんですが、今年は 93 位に後退してしまいました。このランキングの受け止めをお願いします。

◆市長
残念ながらもっともかなということもあるんですけど、ちょっと別の情報で前に発表したかもしれませんが、読売広告社の調査でシビックプライドランキングというのがあるんですけども。これについては全国の 10 万人以上の 278 自治体の中で調査したんですけど、静岡市は全国 16 位で中部地区で 1 位でした。
これどういうことかというと、要はこの街にプライドを持っているかどうかと市民に聞いているっていう調査ですね。これは極めてそのランクが高いっていうことですね。だから市民の皆様がこの街いいまちだなと思っているということですね。
逆に今ご紹介のあった大東建託さんの調査ですけども、これは全国の方々にこの街の認知度だとかイメージはどうですかって聞いているので、逆に外部評価ということになります。それはその順位が低いということですけれども、今静岡市に住んでいる人はいい街だなと思っているけれども、そこは外から見た人から言うとこの静岡市の認知度とそれから良いイメージ率というのが低いということですね。
非常に大東建託さんのこれ参考になるもので、何が静岡市の課題かなというのがよく出てくると思います。それで例えばブランド価値的なものですよね。この静岡市ってどのくらいブランド価値がある街と見られていますかというような調査だと思ったらいいと思うんですけど。大東建託さんのはですね。それで特徴的なのは良いイメージというのが非常に少ないんですね。且つ今度は悪いイメージも非常に少ないということなんです。
どういうことかというと、この街悪いよねっていうイメージはこれ 2.1%なんてほとんど静岡市に悪いイメージ持っていないということですね。逆に良いイメージはどうですかっていうと、これ 26.8%なので、4 人に 1 人ぐらいしか良いイメージを持っていないというところですね。これ他のところを見てみると、例えば札幌とか横浜とか神戸とかなんとなく良いイメージありますよね、そこは 50%前後なんですよね。ですから、静岡いい街だよねって外部の人がなかなかこの街をそう思って見てもらえていないというところですね。そこに課題がある。
逆に言うと悪いイメージをあまり持たれてないので、横浜とか神戸の半分ぐらいの悪いイメージなんですね。だからこの街は悪いイメージを持たれてないので、良いイメージをもっともっと増やしてもらえば認知度もあるしこの街に来てもらいたいというところですね。
それで先ほどアリーナの話もありますけど、やっぱり静岡市は認知度がそういう面では低いんですね。よく言われますけども、例えば静岡に転勤をしてこら

れた方に初めて静岡駅で降りましたっていう方結構多いんですよね。いつも通過して富士山見えるしいい街だよなと思うけど 1 回も降りたことがないっていう人が多いんですね。これがやっぱり今回の大東建託さんの調査結果もそれを裏付けていると思います。
もう一つ例えばですけど、観光のインバウンドでなくて全体的に観光客数、入り込み客数少ないんですけども、やっぱりそこは観光地としての良い地域イメージがないことだと思っています。これは今の観光の皆さんとも話をしているんですけど、例えばですけども伊豆箱根って完全にイメージありますよね。富士もありますよね。富士山というのもありますね。浜名湖のイメージもありますけど、この中部ってないんですよ。この明確な地域イメージがないんですよね。ですから静岡市ってどういうところって言って、自分たちは例えばあの家康公がいた、要するに大御所将軍がいたところっていうとこ。最初のファースト将軍がいたところですので、それで最後ラスト将軍慶喜公までいたところですから、そういうところ歴史なんかに誇りを持てると思うんですけど、外部から見るとこの地域はこういう場所だという地域イメージが起きにくいんだと思うんです。
もう一つ食の話ありましたけど、この静岡市の食はですね来た人はやっぱりすごいと皆さん言うんですけども、ただ例えばガストロノミーツーリズムとかそういう食関係で言うとやっぱ地域イメージがないんですね。何でもあって何でもうまいんですけど、例えば富山のブリだとか能登のカニだとか、そういうのポンと出てこないんですね。だからそこに弱点があるというふうに思っています。従ってこのもっともっとこのブランドを明確にして良いイメージを出すというのが大事だと思います。
朝の続きになってしまいますけど、結局アリーナの何が大事かというと 110 万人年間来訪者がいて、おそらく 60%か 70%は県外から来るということですから、そうすると 70 万人とかの人が毎年来てくれるわけですね静岡に。そこで良いイメージを作れるかどうかっていうところがすごく大事だと思います。今まで静岡で降りたことのなかった人が降りてくれるようになるわけですね。街に来た時に街の中で全部おもてなしをするということですよね。これが非常に大事だと思います。
ちょっと申し上げたかもしれませんが、神戸のジーライオンアリーナで言うと、ゆずのコンサートがありましたとなると街の中の飲食店がみんなゆず料理出すんですよね。そうすると推しの人たちからしてみると、この街やっぱりその自分の推している人を大事にしてくれているなっていうことで、来年またここでそのコンサートがあったら必ずそこに来るよっていこうと思うわけですよね。だからそのアリーナ単体で勝負じゃないんですね。街全体でどうやって魅

力を高めていくかということが大事で、そうするとアリーナはそのきっかけですよね。アリーナで勝負じゃなくて、アリーナがきっかけとなって街の地域イメージっていうのが良いイメージというのができてきて、それが先ほどの大東建託さんがやられたような自治体ブランドランキングが上がるということになると思います。従ってなかなかそこは非常に厳しいところですけど、アリーナができるときには必ずこのランキングがポンと跳ね上がるぐらいのことにはなると思いますので、それまで待つんじゃなくてやはり調査を出していただいたので、静岡が良いイメージを持っていただけるとこが弱いというのがよくわかりましたのでそこを上げていくのが大事かなと思います。

◆司会
はい、その他の質問いかがでしょうか。中日新聞さん。

◆中日新聞
中日新聞の楠城です、よろしくお願いします。10 月 31 日のハロウィンの安全対策についてお伺いします。例年けやきプラザとか青葉シンボルロード周辺では仮装した人が多く集まって道路上に広がったりとか喧嘩が発生するといったようなトラブルが起きています。今年はハロウィン当日が休日で大道芸ワールドカップの初日とも重なりますので例年以上の人出が見込まれています。
渋谷区などではハロウィンの時期には人出を抑制するような対策が行われていますが、静岡市として今年のハロウィンに向けて何か市民の方への呼びかけなどあればお願いします。

◆市長
確かに毎年そういった形でいろんな迷惑行為等は発生をしていますけども、やはり渋谷の状況を見ているとあれとは全然レベルが違うので、渋谷のような形で外出なり集まることを抑制するというようなことは必要ないんではないかなと思っています。ただ混乱が発生する迷惑行為が発生するということもありますので、これは防犯上非常に重要ですから警察の皆さんとも連携をとりながら啓発活動あるいは現場での呼びかけ、そういったことをしていく必要があると考えています。以上です。

◆司会
その他いかがでしょうか。中日新聞さん。

◆中日新聞
中日新聞の飯盛です、よろしくお願いします。何問か聞きたい案件があるんですけど、まず先ほどのアリーナに絡んで静岡鉄道長沼駅の移設に向けた検討状況を伺います。もし移設するとすれば事業主体は静鉄さんだとは思うんですが、市としても市の要望を受けてという形になるので補助金だとか支援することになると思います。また可能なら国の補助金なんかも取っていく段階に入ると思います。まず移設に向けた検討状況を教えてください。

◆市長
ありがとうございます。静岡鉄道さんと協議中ということになります。これは鉄道の機能性の向上だとか利便性向上については国の補助制度がありますので、国の補助制度をしっかり活用して市の負担は抑えて、あるいは事業者負担を抑えて実施するということになると思います。当然ですけどその補助制度に乗っかれるような方法にしないといけないので、それについて今静岡鉄道さんと協議中だと思います。実施者ですけども鉄道の場合、例えば静岡鉄道の長沼駅で言うと鉄道駅としての改修の部分と、それから自由通路としてペデストリアンデッキ今計画していますけど、そのペデストリアンデッキからそのまま駅に入れるようにし、2 階から入れるようにしながら長沼の科学技術高校側といいますかね、駅の北側にそのまま自由通路で行けるようにすることが必要だと思っていますので、それはもう完全に自由通路で鉄道ではなくて公共用の通路ということになりますので、ただそれは誰が施工するかということについてはこれ駅と一体的な工事になるので、それは鉄道会社と市が別々にやるのか一体でやるのか。静岡鉄道さんがやるのかですね。そのあたりについてはこれから協議ということになると思います。ただ駅ですから市がその駅側をやるということはありませんので。やるとすれば静岡鉄道さんが公共通路も一体的に整備をするか別々にやるか、そのあたりはこれから協議ということになります。まだ具体的な、いわゆるどの場所にどういうものを設置するかも決まっていませんので今協議中ということになります。
ただアリーナができるときにはそこは混雑しますのでどうしてもそこで駅が必要かなと。駅の容量を増やすことが必要だし、それから静岡鉄道さんの南北交通についても利便性を上げる必要があるかなと思っています。
さらに言うと、やっぱり長沼駅から新静岡に入ってきて来てほしいんですね。その逆もそうですけど、アリーナに来たお客さんがいかに滞在時間をこの静岡で長くとってくれるかということがポイントで。極端に言うとＪＲ新幹線で来て東海道線で２分で行って、またそれで帰ってもらうと経済効果は非常に少ないので、やはりそこで静岡鉄道でこの新静岡駅に入ってもらって街中に入って

もらうっていうのがすごく大事ですので、そういった点でも長沼駅っていうのはこれから静岡経済の活性化のために極めて大事だと思っています。

◆中日新聞
ありがとうございます。お話聞いているとその移設、確か数十mだったと思うんですけど、やるということは市と静鉄さんでもう合意しているっていうこと認識でよろしいですか。

◆市長
そうですね、やらなければもう本当に混雑あるいは交通上の支障が出ることは確実ですので。もうやらなければいけないということで、どういう方法でやるかということについて今協議をしているということになります。

◆中日新聞
大体概算費用なんかも出ているんでしょうか。

◆市長
まだ出てないですね。

◆中日新聞
費用負担としては市と静鉄さんと、国の補助金が取れればっていうことですね。

◆市長
国の補助金は、大体 3 分の 2 が国の補助金が出る事業制度がありますので、それを活用したいとは思っています。

◆中日新聞
ありがとうございます。もう一問ちょっと別件でなんですけども、議会でも答弁ありましたけどもしずチカの改修工事ですかね、ちょっと遅れているということで来年度に着工延期になりました。そのあたりの経緯と何か国の補助金が今年度は思ったより少なかったという理由でしょうか。

◆市長
予算がつかなかったというのが原因で、それはしずチカの予算というよりも、全体の土地環境の改善の関係の事業費が思っていたよりも、静岡市で見込んで

いたよりも相当国からの認められた金額が少なかったということで。そうすると、優先順位をつけてやっていかないといけないので、そのしずチカにはお金が回らなくなったというのが実態です。
優先順位はどういうとこが優先かというともう既にやっている事業ですね、これは早く進めていかないと。しばらく今やっているんですけど工事を置いたままにするっていうわけいかないので、そうすると今既にやっている事業に予算を投入する。そうすると新しいものに投入する予算が非常に小さくなるので、それを中途半端に始めても迷惑かかることになるので見送ったということですね。
もうちょっと具体的に言うと、しずチカの場合はどうしても工事を始めると通行制限をせざるを得なくなります。そうするとやっぱり予算を集中的に投入して、より短期間で工事を終えて交通制限を最小化する必要があります。そうするともう中途半端に始めるんじゃなくて、十分な予算が取れたときに、しっかりと予算をつぎ込んで短期で事業を仕上げていくっていうことが必要になりますので、そういった点で見送りになっているということになります。今来年度予算をいろいろと検討していますけれども、これも静岡市はこれぐらいは来年は来るだろうと思っていたとしても来ない場合があるので、国から認められない場合があるのでその場合はまたしずチカもできないということもあり得ると思っています。
何で遅れたかということですけども、いくつかの事業がいろんな現場の困難性があって工事が遅れたんですね。工事が遅れると繰り越しになってしまいますので、繰り越しになるとこれ非常に国土交通省の印象が悪くてですね。既に例えば 100 の予算を認めましたと。ところが 70 しか進んでないということは、これは要するに 30 はいらなかったんですよねって見られるのと、もう一つは執行能力がないですよねという。つまり全国で非常に希少な予算を各都市に割り当てているわけですね。ですからその中で、せっかく確保した金額をあなたたちは十分使いきれませんでしたねっていう印象がまず一つ。もう一つは使いきれなかった理由で工事の遅れも、現場からするとやむを得ない理由があるんですけども、でもそれはその執行能力がないんじゃないかっていうふうに見られてしまうわけですね。ですからその両面から、いやそういうところについては予算減らしますよっていうのが今回の令和 8 年度事業費が非常に少なかった理由だと思っています。
従って何をしないといけないかというと、もうつけてもらった予算はしっかりその年で執行していくっていうことが非常に大事ですので、そのあたりの執行力の向上というのが一つの課題だと思っています。

◆中日新聞
ありがとうございます。来年度一気に工事着手できるように、国の予算をまた取っていくっていうことですね。

◆市長
そうですね、今これから要望していく形にはなりますけども、ただどうなるかはなかなかわからないという状況ですね。極端言うと１回減るとなかなかきついんですよね。その減ったものがどうしてもベースになってしまうので、前年比1.5倍みたいなのはなかなか予算つきにくくなりますよね。ですから、もうせっかくつけた予算はしっかり使ってずっとキープをしていかないと、なかなか厳しい状況なので、そういった面でも執行力が問われていると思います。

◆中日新聞
ありがとうございます。あと最後もう１問別件なんですが、静岡市はウォーカブルな街っていうことで歩きやすい街中目指していると思います。このしずチカの近くにあるＪＲ静岡駅北側の地下道でM20のところなんですけども、長いこと停止状態だったエスカレーターがつい最近見たらまた動いていまして大変良かったと思うんですけども。そもそも原因としては地下水を排出するポンプに不具合があったということで、5月9日に冠水して以降5ヶ月ほど停止状態でした。これだけその復旧に時間がかかった理由っていうのは何なんだったのでしょうか。

◆市長
１回水に漬かってしまうとなかなか復旧に時間がかかるというのが実態だと思います。それでやっぱり電気系のところもやられますので、それが復旧工事自体に時間かかるということですね。
それからもう一つはなぜそこが冠水したのかというところで、そこの管理システムのようなところに課題があったので、やはり同じことがまた起きてはいけませんので管理といいますか、浸水防止システムというところもやっぱり強化をした上でやっていかないといけないので。防止システム、その浸水をしっかりと検知できなかったというところも課題があるので、そちらをしっかりとさせた上で新しいものに取り組んでいくということが必要ですので、そのあたりの検討にも時間がかかったということになります。
本当に長い間、今非常に多くの方を使っていただいているので、大変ご迷惑をおかけしたんですけど、二度とああいうことにならないようにしっかりとした管理をしていきたいと思っています。

◆中日新聞
調整ということですけど地下水排水ポンプ自体が国道事務所の所有です。そことの調整に時間を要したっていうことでよろしいですか。

◆市長
調整といいますか、しっかりとした管理をしていかないといけないし、それ自身もどういう運用していくかということも含めて協議はありました。施設そのものは国土交通省の持ち物ですけど、そこの管理は静岡市がやっているので。ですから施設自体は必要な改修はしないといけないですし、それから今度は管理ですよね。この 2 人の役割分担、所有者と管理者でどういう役割分担あるいはどういう通報なり運用システムを作っていくかというところは詰めていかないといけないので、そういった点にも時間がかかったと思っています。

◆司会
それではテレビ静岡さん。

◆テレビ静岡
長々と申し訳ありません、テレビ静岡の高本と申します。今日来年度以降のアリーナの話とかいろいろありましたけれども。次期市長選、4 月という話ありますけれども、直球で申し訳ありませんが今そのまま難波さん引き続き開業を見届けたいのかどうか、今のお考えをお聞かせいただきたいです。

◆市長
開業を見届けたいというのは別に市長でなくても開業を見届けられますので、それにこだわるつもりはありませんが、まだしっかりと仕事をまずはして、今ちょっといろんな課題もありますし、そのあたりをしっかりとした形を作るということが一番今大事だと思っていますので、今の時点で来年の市長選の話はする段階にはないと思っています。まずは現実の課題に全力投球していくっていう、全力疾走するっていうのが大事だと思っています。

◆司会
その他いかがでしょうか。静岡朝日テレビさん。

◆静岡朝日テレビ
静岡朝日テレビの林です。難波さん街作りなどを含めて人口減少対策に非常に力を入れているということですけれども、難波さんがこれまでやってこられた

政策っていうのは１期で成し遂げられるものなのか、それとも２期３期と継続して市長として努めていかなければ成し遂げられないものなのか、その辺り教えていただけますか。

◆市長
市長がというよりも一言で言うと、市長が何かひとりいると物事がこう動くような、よく私が市長になったら何とかやりますみたいな話が選挙戦ではよく行われますけども、市長の仕事っていうのはそういうものではないと思っています。これは 5 市 2 町っていう中部連携都市圏の組長さんたち、焼津それから藤枝、牧之原、島田、川根本町の皆さんとも話していますけども、やっぱりみんなこれをやりますじゃないんですよね。この市民社会の課題となっているものを一つ一つ丁寧に全部やっていくっていうのが大事で、どこに重点を置くかあたりについてその市長の判断というのはありますけども、大事なことはもう各町いろんな課題があるわけですよね。それをいかにしっかりと課題解決あるいは新しい価値を作っていくのが大事だと思っています。そこでそれ誰がやるんですかというとそれは市の職員がやります。もちろん市長もやりますけど、市長がやるよりも職員がそこをしっかりやっていくのが大事で、よく執行力って言っていますけど、その執行力をいかに高めていくかというのは大事だと思っています。この執行力を高めていくっていうのは私が高めていくのかどうかというよりもずっとした継続的取り組みですよね。
ですからそれが大事だと思いますので誰が市長をやっても、もう市の職員の執行力が上がっていっているっていう状況が極めて大事だと思います。
残念ながらこれまでは執行力はそうは高くなかったと思いますので、3 年半やってかなり執行力は高まってきましたが、やはり日々まだまだいろんな課題がありますので、それを私じゃなくて職員一人一人がやっぱりこうした方がいいよねって思ってくれるような状況にしていくのが大事で、かなりそこができてきてはいると思いますので、引き続き自分がというよりもそういう土台作りですよね。土台は作るのが大事だと思っています。
何かアリーナだとかそういうのを見るとよくその箱物っていうことで言われますけども、そこの目に見えるよりもそうじゃないところがかなり非常に大事だと思っています。それで前もちょっと申し上げましたけども、今本当に困っている方に対してのしっかりとした取り組みですよね、それはお困りですよねって。じゃあどうこういう方法もあります、こういう方法もありますけどどうしますかというのを丁寧に何回もやっていくっていうような取り組みは市の職員に今定着をしてきています。
それから今度は今までの制度はこうだったけどこうやった方がいいんだってい

うのも提案がどんどん出てきていますので、そういったことが実はそれ目に見えないんですよね。あの形がポンと建物じゃないんですけど、そういうその心の問題とか一つ一つのご相談にしっかり応えていくような体制作りっていうのは目に見えないので目立たないんですけど、そこが非常に強化されていると思っています。
この間、しずおかホットリンクみたいな、このちょっと生きづらさを感じる方にアバターで対応するとかそういうことも出てきましたけど、あれもうほとんど目に見えないわけですよね。ですけど、そういうのがいくつも今できてきているので、そういったことがやっぱり引き続きこれからみんなの力で高めていくってのが大事だと思いますが、少しずつそこができてきているなと思っています。

◆司会
その他質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは質問がないようですので以上をもって本日の市長定例記者会見終了をいたします。皆様ご協力ありがとうございました。事務連絡になります。次回の市長定例記者会見は 11 月 5 日木曜日の 11 時からこちらになりますので、よろしくお願いいたします。皆様ありがとうございました。